

## 平成29年1月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,372	8,772	4,416	4,356	4	△ 2
2 千 石	3,947	6,785	3,419	3,366	13	29
3 内 山	5,265	7,457	3,944	3,513	△ 15	△ 25
4 大 和	3,352	6,605	3,265	3,340	△ 12	△ 13
5 上 野	7,273	15,448	7,697	7,751	0	△ 4
6 高 見	7,160	13,374	6,419	6,955	0	△ 17
7 春 岡	6,699	10,808	5,690	5,118	△ 12	△ 11
8 田 代	11,375	21,759	10,486	11,273	2	15
9 東 山	10,209	19,303	9,513	9,790	△ 6	△ 1
10 見 付	4,531	8,412	4,252	4,160	△ 33	△ 39
11 星 ケ 丘	3,505	6,879	3,145	3,734	△ 4	△ 22
12 自 由 ケ 丘	3,560	7,349	3,347	4,002	2	34
13 富 士 見 台	6,402	15,422	7,138	8,284	△ 16	△ 42
14 宮 根	3,761	8,384	4,010	4,374	△ 1	△ 1
15 千 代 田 橋	3,574	8,539	3,984	4,555	7	14
千 種 区 計	85,985	165,296	80,725	84,571	△ 71	△ 85
H28.1.1	83,650	164,616	80,282	84,334	△ 43	△ 40
対 前 年 比	2,335	680	443	237	△ 28	△ 45
名 古 屋 市	1,074,901	2,307,683	1,139,350	1,168,333	223	15
愛 知 県 ( H28.12.1 )	3,114,145	7,512,085	3,758,211	3,753,874	1,751	970

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	122	117	5	1,089	1,179	△ 90

【参考】

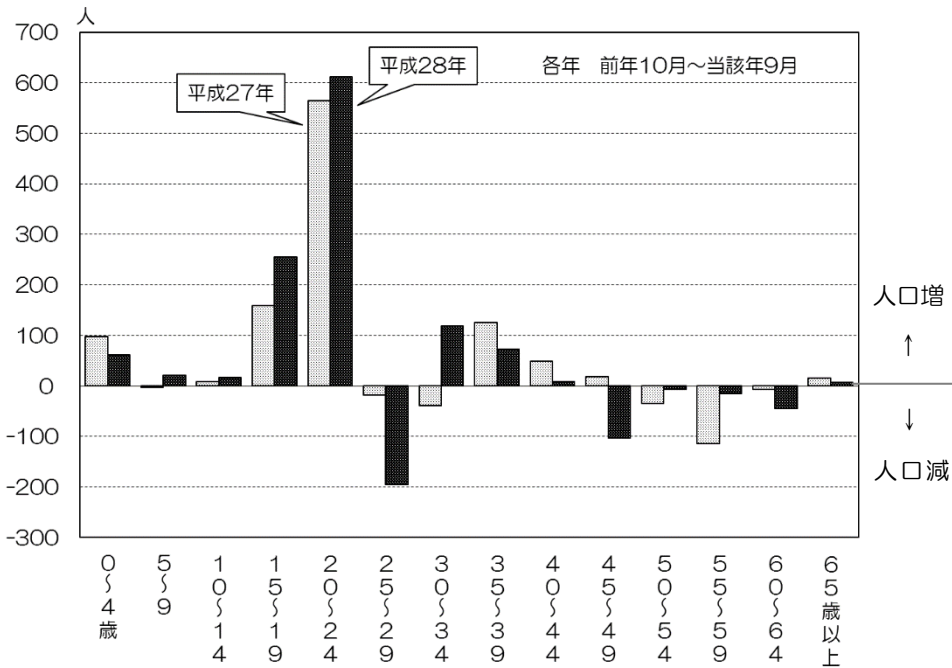
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区の5歳階級別社会増減数の推移

今回は愛知県人口動向調査（名古屋市分）に基づいて、本区の年齢5歳階級別社会増減数（転入数－転出数）をみていきます。

図1: 年齢5歳階級別社会増減数（平成27年と平成28年の比較）

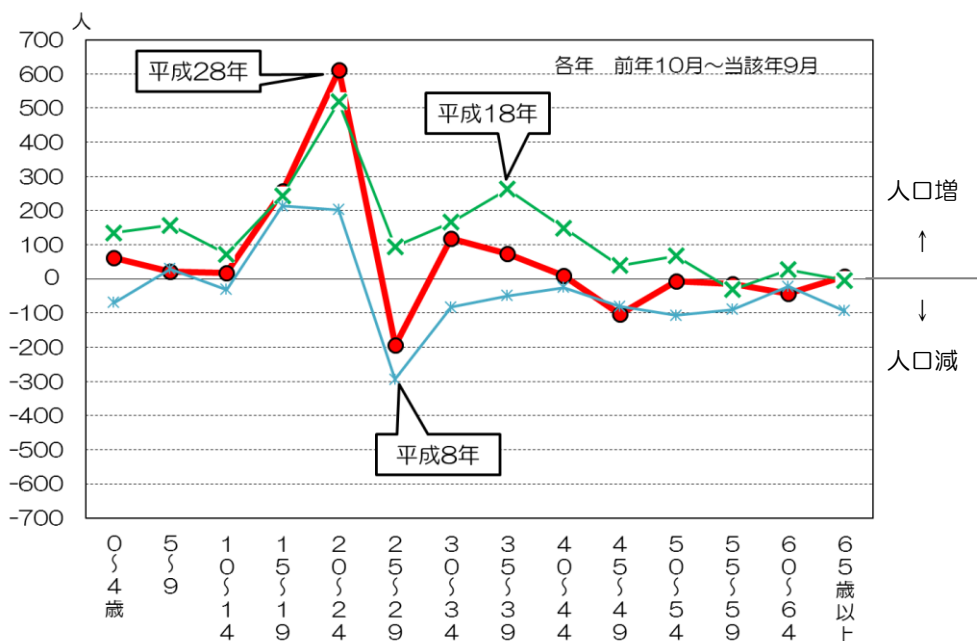


平成27年と平成28年の年齢5歳階級別社会増減数（図1）を見ると、いずれも15歳～19歳、20歳～24歳で大幅な社会増（本区への転入超過）がみられます。

その他の年代をみると、平成27年は社会減であった5～9歳、30～34歳が、平成28年には社会増（本区からの転入超過）に転じています。

また、平成27年は社会増であった45～49歳が、平成28年には社会減（本区からの転出超過）に転じています。

図2: 年齢5歳階級別社会増減数の推移



平成8年から平成28年までの10年ごとの年齢5歳階級別社会増減数の推移（図2）をみると、15～24歳に本区に転入し、25～29歳で転出するという傾向に大きな変化はみられませんが、20～24歳は、平成8年は約200人の社会増でしたが、平成18年、平成28年はそれぞれ約500人、600人の社会増となっています。

また、その他の年代について、平成8年と平成28年を比較すると、全体的に社会増の傾向が見られます。